

『  
実  
相  
』

中  
條  
ル  
ネ

あらすじ

二はなな生え隠  
人、つがきるし  
を手たらて決続  
覗で光にい意け  
き力一感まをて  
込メの謝すしき  
むラ甥すかたた  
。のつるらの。  
フ子。」だし  
レ・そととか  
一直の微光し  
ム人後笑一今  
をと、むに、  
作再栄栄告自  
り会はにげ分  
、す皮、るの  
笑る膚光。体  
い。科一、一驗  
合光医はまを  
う一と涙だ伝  
、



教若兵兵社通担職記副内  
員手士士長訳当員者官閣  
記 2 1 官 1 情報  
者  
局の高官

新聞紙 ○ モンタ  
 ゲ | × 面「進ゲ | タ  
 ラ 「陥撃ラ |  
 にミ 東落順に東ジ  
 ツ × 南」調「南ユ  
 空ド アや「シア・  
 母ウ ジ「のンジ報  
 四エ × ア進文ガア道  
 隻 | 戰擊字ボのの  
 壊海 線順。| 占改  
 失戦 。  
 大「ペ陥に  
 戰にン落つ  
 果丸を「い  
 ペンの 「を持「て  
 の手 つツマ。  
 け手レ  
 るが |  
 。

○ 内閣  
 資戦る外示受各情  
 す場事は達け省報  
 べの項一取や局  
 き実は切る報・  
 も相一掲。道会  
 のを般載大の議  
 は認に禁本室  
 許識掲止當室  
 可せ載の幹  
 すしを許部  
 「め禁可し  
 と敵ず我し  
 あ愾。軍た  
 る心たにる  
 。高だ不も示  
 揚し利の達  
 に、な以を

新 ラ ラ ○ 街  
 告 開太ジ 時發 中  
 「の状平オ 人々 表「新  
 見態洋人表「新  
 出にに々大聞  
 し入おが本配  
 「れい帝群當達員  
 大りて國が陸員  
 詔「ア陸海軍  
 渥發メリ軍新  
 許識掲止當室  
 可せ載の幹  
 すしを許部  
 「め禁可し  
 と敵ず我し  
 あ愾。軍た  
 る心たにる  
 。高だ不も示  
 揚し利の達  
 に、な以を

○ 真珠  
 ラジュオ  
 一瞬で炎と黒煙  
 一瞬柱が爆弾投  
 下の軍港が零戦  
 を組んでいる。港  
 を申下す。軍艦が  
 上げられると黒煙  
 が海上に現れる。軍  
 艦が火を噴く。軍  
 艦が姿を現す。  
 真珠湾攻撃の大作  
 戦が昭和十六年十二月八日(日本時間)  
 に実行された。

○内閣情報局・執務室（翌日・朝）

し雲さ一空す暗T上  
てのら機にる雲・空  
い下にが銀と昭（  
く、別腹色背和深  
。まの部の後そ二夜  
る機を編かの十  
で体開隊ら隙年  
昼がくが、間三  
の照と広次か月  
よ明、がたら十  
う弾続つに、日  
にをいて同B  
明次てい機2  
る々別くが9  
さにの。現が  
が投機れ一  
増下体、機  
。、。

○東京

新聞紙  
航面をンゲ | × 面く赤ゲ | ×  
空「つがラ | 「バペラ |  
機硫け素に硫イツンにイ  
の黄る早黄×ンをがーン×  
音島。く死島パつー困パ  
が、傷の|け困難|  
徐我死多戦×ルる難続ル×  
々軍傷数い作。く作  
に応、。戦、戦  
増戦、戦、  
し続ー況、  
てく厳嚴進、  
明次てい機しし  
る々別くがー。  
さにの。現が  
が投機れ一  
増下体、機  
。、。

新聞紙  
面がゲ | × 面赤ゲ | ×  
「ラ | 「ペラ |  
ア全にアブンにガ  
ツ滅ツ×ナがーダ×  
ツ「日ツ | 壊ル  
島に本島ガ撤滅力  
、銳軍。ナ退的ナ×  
皇く守ル「なル  
軍バ備力に被島  
玉ツ隊ナバ害の  
碎を全ルツに戦  
に入滅よりつり。  
れてれ。轉け撤  
真る赤進る退  
髓。赤進る退  
をペン。

新聞紙

面がゲ | × 面赤ゲ | ×  
「ラ | 「ペラ |  
ア全にアブンにガ  
ツ滅ツ×ナがーダ×  
ツ「日ツ | 壊ル  
島に本島ガ撤滅力  
、銳軍。ナ退的ナ×  
皇く守ル「なル  
軍バ備力に被島  
玉ツ隊ナバ害の  
碎を全ルツに戦  
に入滅よりつり。  
れてれ。轉け撤  
真る赤進る退  
髓。赤進る退  
をペン。

新聞紙  
面にが  
「バ瞬止  
空ツを母  
二引まり、  
隻引き、  
撃沈ため  
我らうよう  
方書き方に  
一隻加えに  
のみる四  
喪。

○ 東京 下町の爆心地（朝）  
炭化した柱の根、崩れた土壁。瓦礫の  
隙間に歪んだ自転車のフレーム。焦げ  
た小さな靴。  
静まり返る焼け野原。空から細かな灰  
が絶え間なく降つてゐる。  
タ一音。 タイトル『実相』  
タイトルが消えると、カメラのシャッ

朝日が差し込む机の上。吸い殻の溜まつた灰皿の傍に、帝都新聞。一面には東京大空襲についての記事。一面には内省発表「都内各所に火災を生じたるも宮馬寮は二時三十五分其の他は八時頃迄に鎮火せり」窓際に立つ高官。顔はわからない。

○ 同・報道部 慌ただしく動く記者たち。  
中村浩平（４４）、赤鉛筆でゲラにチ  
エックを入れて、今日の取材分です」  
中村一、「中村デスク。今日は取材分です」  
光一、「受け取つて」と、やつてくる。  
「（：：：：：）米軍の戦闘機？」  
「（：：：：：）P51です」  
「（：：：：：）製版です」  
「（：：：：：）回しとけ」

○ 帝都新聞社・大阪本社・外観  
モダンで立派な社屋。切る。わずかに眉を寄せるが、シヤツターを





○	光	貴	光	○	帝
同	一	志	一	都	新
・	「	昨	光	丸	暗室
手	（	日	一	が	。写真の上、
元	顔	の	、入つ	消	エアブラシの筆先が
の	を	分	てく	され	動いている。
写	上	、	る。	いく。	戦闘機の尾翼にある日の
真	げ	、	（	く。	新聞社・大阪本社・製版部
	仕	上	おお	、	筆先が
日	上	が	、	光	。写真の上、エアブラシの筆先が
の	が	つ	、	一	動いている。
丸	と	と	く	ん	戦闘機の尾翼にある日の
が	り	り	？	？	新聞社・大阪本社・製版部
な	ま	ま	』	』	筆先が
い	た	ま	』	』	動いている。
戦	い	た	』	』	戦闘機の尾翼にある日の
闘	て	た	』	』	新聞社・大阪本社・製版部
機	』	』	』	』	筆先が

○光一の家（夜）写真。光一と和美と直人が写っている。  
「こじんまりとした部屋でその写真を見つめる光一。」  
項垂れる生きとる、よな？」

○モントージュ・記者たちの反応  
光 小宮 廊下で一人、立ち尽くす光一。記者た  
一 う 千葉 方 「白血病になるらしいがね」過ぎて |  
「 話 すか? ちが次々と光一の隣を通り過ぎて |  
… や 爆弾の影響で、草木がもう生えへんい  
… : 「人、供がもう、でできん体になる聞いた」  
」 「 燒けたつてほんとう、なんんで



光田光一 淵田光一 淵田光一 淵田光一 淵田光一 淀田光一 淀田光一 淀田光一 淀田光一  
「つじ：そ自：：あ焼え：：：す両：そ：：：ね： よ「  
列車！や：い分：：け？：：：親：う：：：？： いる。  
のけ「つが」堪い野知「」はあでおごあ「田  
ブえら歩ええ原えつ」、んすら家あ  
レ力がいる：につともたかん族「  
一メカとで：なとるうは：」は  
キラメつ「」つ、町：？：？  
音。 ラたたたそ、たそ、町り撮で  
落ん道中、じやつでも、妹  
とす入よやあたこと家  
なよるん知やあたこと族  
はつはどがいある族が、お  
：とる顔：とる顔|か？

和光 和光  
美一 美一

「――に「――  
じガあお | えと！顔レ光我瓦光ヤフ光つ炊の  
やラあ前 | : がン一人礫一ツア一てきある  
ガス、、「驅：あズ、にの、タイ、い出る  
、ガ腕？け：ら越力手傍カ！ンカるし広  
も？ラ、寄和わしメ当。メ音ダメ。の場  
うスど光る美に。ラて腕ラ。一ラ列(タ)  
平安がう一。！| 看ををにをのを  
気静ちし兄 | 護構し包下構少女  
じにいたち和師えて帶ろ構える  
やしとんちゃん美、るいをす  
」とじやんだ手。るし。少女  
かんや？。当。た  
んと「なんで終え、看護師が怪シ

○ 広島

光 田 光 記者 1 「  
一 淵 一 1 「  
：記：息：い壁？他「歩！」変焼光れ焼組強  
：者：を：るに「あく」形け一たけん  
！た影呑こ。小記れ記者たげ何柱れ歩い  
」ちまむ、さ記者者1、小たかに家ていの  
、で声子な黒1、さ三輪につ人々、中、  
呆焼。供黒ちん足もだ足を止がのず気歪。光  
然かれ影徐々止めヒフリ、はなだ看  
と立れ？」に止めヒムを止。ムを止。  
ち立か？」に止めヒムを止。  
尽くす。子供の形をして近め  
。」に立ち止まる。止くにひび割  
。」に立ち止まる。止くにひび割  
。

阪○ 本1 社9 （4 タ3 ）年 ・光 一の回 想 ・帝都 新聞社 ・大	光　　光　　軍 一　　一　　の負人 「　　「　　やけ 和　　そが和：炊光！んみメ記田和光 美　　した美：き一」なラ者淵美一あち！眞人 の　　てだの！出の立胸をた、、、「も」をが ぎ　　瓦れ背し力ちを構ち遠躊和 碓た後をメ上張え、巻躇美 ちの者、囲ラがつる力にしに ちない隙、レむのるて、メ立な領 間身ン人フ広くラつがく 笑に動ズタア島れをてら。 顔焼きののイの！構いも にけも奥中ン姿える加 ピ焦まに心ダをピる。わ ントげまはに一見カ がたなー、越せド光 遺らー和しツン一 合い体ぬ皮美 い。者膚	軍和　　軍　　光和　　光　　和光　　和光 人美　　た人　　か一　　美一　　美一　　大 「　　も「　　「な　　「　　「　　「　　「 「　　も「　　「二　　「　　「　　「　　「 あ取　　取」で　　そ　　う　　う　　う　　う 材材　　材　　二　　二　　二　　二　　二 もう　　う　　う　　う　　う　　う　　う かと　　と　　と　　と　　と　　と　　と 直は　　は　　は　　は　　は　　は　　は 周囲　　周　　周　　周　　周　　周　　周 看護　　護　　護　　護　　護　　護　　護 の被爆　の被爆　の被爆　の被爆　の被爆　の被爆 みんが　　みんが　　みんが　　みんが　　みんが　　みんが 一一番　　一一番　　一一番　　一一番　　一一番　　一一番 のほ　　のほ　　のほ　　のほ　　のほ　　のほ わか　　わか　　わか　　わか　　わか　　わか つと　　つと　　つと　　つと　　つと　　つと づつ　　づつ　　づつ　　づつ　　づつ　　づつ
--	---	--

光  
一  
「と  
、  
首  
から  
力  
メ  
ラ  
を  
乱  
暴  
に  
外  
し、  
全  
力

○  
瓦  
礎  
  
「首目嘔光の  
に吐一(夕)  
ぶはし、  
ら涙て地  
さ。い面  
が息るに  
るが。手  
力荒  
メく、  
。肩  
が上  
下。  
に外  
し、  
全  
力

〇  
1  
9  
4  
5  
1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100  
101  
102  
103  
104  
105  
106  
107  
108  
109  
110  
111  
112  
113  
114  
115  
116  
117  
118  
119  
120  
121  
122  
123  
124  
125  
126  
127  
128  
129  
130  
131  
132  
133  
134  
135  
136  
137  
138  
139  
140  
141  
142  
143  
144  
145  
146  
147  
148  
149  
150  
151  
152  
153  
154  
155  
156  
157  
158  
159  
160  
161  
162  
163  
164  
165  
166  
167  
168  
169  
170  
171  
172  
173  
174  
175  
176  
177  
178  
179  
180  
181  
182  
183  
184  
185  
186  
187  
188  
189  
190  
191  
192  
193  
194  
195  
196  
197  
198  
199  
200  
201  
202  
203  
204  
205  
206  
207  
208  
209  
210  
211  
212  
213  
214  
215  
216  
217  
218  
219  
220  
221  
222  
223  
224  
225  
226  
227  
228  
229  
230  
231  
232  
233  
234  
235  
236  
237  
238  
239  
240  
241  
242  
243  
244  
245  
246  
247  
248  
249  
250  
251  
252  
253  
254  
255  
256  
257  
258  
259  
259  
260  
261  
262  
263  
264  
265  
266  
267  
268  
269  
270  
271  
272  
273  
274  
275  
276  
277  
278  
279  
280  
281  
282  
283  
284  
285  
286  
287  
288  
289  
289  
290  
291  
292  
293  
294  
295  
296  
297  
298  
299  
300  
301  
302  
303  
304  
305  
306  
307  
308  
309  
309  
310  
311  
312  
313  
314  
315  
316  
317  
318  
319  
319  
320  
321  
322  
323  
324  
325  
326  
327  
328  
329  
329  
330  
331  
332  
333  
334  
335  
336  
337  
338  
339  
339  
340  
341  
342  
343  
344  
345  
346  
347  
348  
349  
349  
350  
351  
352  
353  
354  
355  
356  
357  
358  
359  
359  
360  
361  
362  
363  
364  
365  
366  
367  
368  
369  
369  
370  
371  
372  
373  
374  
375  
376  
377  
378  
379  
379  
380  
381  
382  
383  
384  
385  
386  
387  
388  
389  
389  
390  
391  
392  
393  
394  
395  
396  
397  
398  
399  
400  
401  
402  
403  
404  
405  
406  
407  
408  
409  
409  
410  
411  
412  
413  
414  
415  
416  
417  
418  
419  
419  
420  
421  
422  
423  
424  
425  
426  
427  
428  
429  
429  
430  
431  
432  
433  
434  
435  
436  
437  
438  
439  
439  
440  
441  
442  
443  
444  
445  
446  
447  
448  
449  
449  
450  
451  
452  
453  
454  
455  
456  
457  
458  
459  
459  
460  
461  
462  
463  
464  
465  
466  
467  
468  
469  
469  
470  
471  
472  
473  
474  
475  
476  
477  
478  
479  
479  
480  
481  
482  
483  
484  
485  
486  
487  
488  
489  
489  
490  
491  
492  
493  
494  
495  
496  
497  
498  
499  
500  
501  
502  
503  
504  
505  
506  
507  
508  
509  
509  
510  
511  
512  
513  
514  
515  
516  
517  
518  
519  
519  
520  
521  
522  
523  
524  
525  
526  
527  
528  
529  
529  
530  
531  
532  
533  
534  
535  
536  
537  
538  
539  
539  
540  
541  
542  
543  
544  
545  
546  
547  
548  
549  
549  
550  
551  
552  
553  
554  
555  
556  
557  
558  
559  
559  
560  
561  
562  
563  
564  
565  
566  
567  
568  
569  
569  
570  
571  
572  
573  
574  
575  
576  
577  
578  
579  
579  
580  
581  
582  
583  
584  
585  
586  
587  
588  
589  
589  
590  
591  
592  
593  
594  
595  
596  
597  
598  
599  
600  
601  
602  
603  
604  
605  
606  
607  
608  
609  
609  
610  
611  
612  
613  
614  
615  
616  
617  
618  
619  
619  
620  
621  
622  
623  
624  
625  
626  
627  
628  
629  
629  
630  
631  
632  
633  
634  
635  
636  
637  
638  
639  
639  
640  
641  
642  
643  
644  
645  
646  
647  
648  
649  
649  
650  
651  
652  
653  
654  
655  
656  
657  
658  
659  
659  
660  
661  
662  
663  
664  
665  
666  
667  
668  
669  
669  
670  
671  
672  
673  
674  
675  
676  
677  
678  
679  
679  
680  
681  
682  
683  
684  
685  
686  
687  
688  
689  
689  
690  
691  
692  
693  
694  
695  
696  
697  
698  
699  
700  
701  
702  
703  
704  
705  
706  
707  
708  
709  
709  
710  
711  
712  
713  
714  
715  
716  
717  
718  
719  
719  
720  
721  
722  
723  
724  
725  
726  
727  
728  
729  
729  
730  
731  
732  
733  
734  
735  
736  
737  
738  
739  
739  
740  
741  
742  
743  
744  
745  
746  
747  
748  
749  
749  
750  
751  
752  
753  
754  
755  
756  
757  
758  
759  
759  
760  
761  
762  
763  
764  
765  
766  
767  
768  
769  
769  
770  
771  
772  
773  
774  
775  
776  
777  
778  
779  
779  
780  
781  
782  
783  
784  
785  
786  
787  
788  
789  
789  
790  
791  
792  
793  
794  
795  
796  
797  
798  
799  
800  
801  
802  
803  
804  
805  
806  
807  
808  
809  
809  
810  
811  
812  
813  
814  
815  
816  
817  
818  
819  
819  
820  
821  
822  
823  
824  
825  
826  
827  
828  
829  
829  
830  
831  
832  
833  
834  
835  
836  
837  
838  
839  
839  
840  
841  
842  
843  
844  
845  
846  
847  
848  
849  
849  
850  
851  
852  
853  
854  
855  
856  
857  
858  
859  
859  
860  
861  
862  
863  
864  
865  
866  
867  
868  
869  
869  
870  
871  
872  
873  
874  
875  
876  
877  
878  
879  
879  
880  
881  
882  
883  
884  
885  
886  
887  
888  
889  
889  
890  
891  
892  
893  
894  
895  
896  
897  
898  
899  
900  
901  
902  
903  
904  
905  
906  
907  
908  
909  
909  
910  
911  
912  
913  
914  
915  
916  
917  
918  
919  
919  
920  
921  
922  
923  
924  
925  
926  
927  
928  
929  
929  
930  
931  
932  
933  
934  
935  
936  
937  
938  
939  
939  
940  
941  
942  
943  
944  
945  
946  
947  
948  
949  
949  
950  
951  
952  
953  
954  
955  
956  
957  
958  
959  
959  
960  
961  
962  
963  
964  
965  
966  
967  
968  
969  
969  
970  
971  
972  
973  
974  
975  
976  
977  
978  
979  
979  
980  
981  
982  
983  
984  
985  
986  
987  
988  
989  
989  
990  
991  
992  
993  
994  
995  
996  
997  
998  
999  
1000  
1001  
1002  
1003  
1004  
1005  
1006  
1007  
1008  
1009  
1009  
1010  
1011  
1012  
1013  
1014  
1015  
1016  
1017  
1018  
1019  
1019  
1020  
1021  
1022  
1023  
1024  
1025  
1026  
1027  
1028  
1029  
1029  
1030  
1031  
1032  
1033  
1034  
1035  
1036  
1037  
1038  
1039  
1039  
1040  
1041  
1042  
1043  
1044  
1045  
1046  
1047  
1048  
1049  
1049  
1050  
1051  
1052  
1053  
1054  
1055  
1056  
1057  
1058  
1059  
1059  
1060  
1061  
1062  
1063  
1064  
1065  
1066  
1067  
1068  
1069  
1069  
1070  
1071  
1072  
1073  
1074  
1075  
1076  
1077  
1078  
1079  
1079  
1080  
1081  
1082  
1083  
1084  
1085  
1086  
1087  
1088  
1089  
1089  
1090  
1091  
1092  
1093  
1094  
1095  
1096  
1097  
1098  
1099  
1100  
1101  
1102  
1103  
1104  
1105  
1106  
1107  
1108  
1109  
1109  
1110  
1111  
1112  
1113  
1114  
1115  
1116  
1117  
1118  
1119  
1119  
1120  
1121  
1122  
1123  
1124  
1125  
1126  
1127  
1128  
1129  
1129  
1130  
1131  
1132  
1133  
1134  
1135  
1136  
1137  
1138  
1139  
1139  
1140  
1141  
1142  
1143  
1144  
1145  
1146  
1147  
1148  
1149  
1149  
1150  
1151  
1152  
1153  
1154  
1155  
1156  
1157  
1158  
1159  
1159  
1160  
1161  
1162  
1163  
1164  
1165  
1166  
1167  
1168  
1169  
1169  
1170  
1171  
1172  
1173  
1174  
1175  
1176  
1177  
1178  
1179  
1179  
1180  
1181  
1182  
1183  
1184  
1185  
1186  
1187  
1188  
1189  
1189  
1190  
1191  
1192  
1193  
1194  
1195  
1196  
1197  
1198  
1199  
1200  
1201  
1202  
1203  
1204  
1205  
1206  
1207  
1208  
1209  
1209  
1210  
1211  
1212  
1213  
1214  
1215  
1216  
1217  
1218  
1219  
1219  
1220  
1221  
1222  
1223  
1224  
1225  
1226  
1227  
1228  
1229  
1229  
1230  
1231  
1232  
1233  
1234  
1235  
1236  
1237  
1238  
1239  
1239  
1240  
1241  
1242  
1243  
1244  
1245  
1246  
1247  
1248  
1249  
1249  
1250  
1251  
1252  
1253  
1254  
1255  
1256  
1257  
1258  
1259  
1259  
1260  
1261  
1262  
1263  
1264  
1265  
1266  
1267  
1268  
1269  
1269  
1270  
1271  
1272  
1273  
1274  
1275  
1276  
1277  
1278  
1279  
1279  
1280  
1281  
1282  
1283  
1284  
1285  
1286  
1287  
1288  
1289  
1289  
1290  
1291  
1292  
1293  
1294  
1295  
1296  
1297  
1298  
1299  
1300  
1301  
1302  
1303  
1304  
1305  
1306  
1307  
1308  
1309  
1309  
1310  
1311  
1312  
1313  
1314  
1315  
1316  
1317  
1318  
1319  
1319  
1320  
1321  
1322  
1323  
1324  
1325  
1326  
1327  
1328  
1329  
1329  
1330  
1331  
1332  
1333  
1334  
1335  
1336  
1337  
1338  
1339  
1339  
1340  
1341  
1342  
1343  
1344  
1345  
1346  
1347  
1348  
1349  
1349  
1350  
1351  
1352  
1353  
1354  
1355  
1356  
1357  
1358  
1359  
1359  
1360  
1361  
1362  
1363  
1364  
1365  
1366  
1367  
1368  
1369  
1369  
1370  
1371  
1372  
1373  
1374  
1375  
1376  
1377  
1378  
1379  
1379  
1380  
1381  
1382  
1383  
1384  
1385  
1386  
1387  
1388  
1389  
1389  
1390  
1391  
1392  
1393  
1394  
1395  
1396  
1397  
1398  
1399  
1400  
1401  
1402  
1403  
1404  
1405  
1406  
1407  
1408  
1409  
1409  
1410  
1411  
1412  
1413  
1414  
1415  
1416  
1417  
1418  
1419  
1419  
1420  
1421  
1422  
1423  
1424  
1425  
1426  
1427  
1428  
1429  
1429  
1430  
1431  
1432  
1433  
1434  
1435  
1436  
1437  
1438  
1439  
1439  
1440  
1441  
1442  
1443  
1444  
1445  
1446  
1447  
1448  
1449  
1449  
1450  
1451  
1452  
1453  
1454  
1455  
1456  
1457  
1458  
1459  
1459  
1460  
1461  
1462  
1463  
1464  
1465  
1466  
1467  
1468  
1469  
1469  
1470  
1471  
1472  
1473  
1474  
1475  
1476  
1477  
1478  
1479  
1479  
1480  
1481  
1482  
1483  
1484  
1485  
1486  
1487  
1488  
1489  
1489  
1490  
1491  
1492  
1493  
1494  
1495  
1496  
1497  
1498  
1499  
1500  
1501  
1502  
1503  
1504  
1505  
1506  
1507  
1508  
1509  
1509  
1510  
1511  
1512  
1513  
1514  
1515  
1516  
1517  
1518  
1519  
1519  
1520  
1521  
1522  
1523  
1524  
1525  
1526  
1527  
1528  
1529  
1529  
1530  
1531  
1532  
1533  
1534  
1535  
1536  
1537  
1538  
1539  
1539  
1540  
1541  
1542  
1543  
1544  
1545  
1546  
1547  
1548  
1549  
1549  
1550  
1551  
1552  
1553  
1554  
1555  
1556  
1557  
1558  
1559  
1559  
1560  
1561  
1562  
1563  
1564  
1565  
1566  
1567  
1568  
1569  
1569  
1570  
1571  
1572  
1573  
1574  
1575  
1576  
1577  
1578  
1579  
1579  
1580  
1581  
1582  
1583  
1584  
1585  
1586  
1587  
1588  
1589  
1589  
1590  
1591  
1592  
1593  
1594  
1595  
1596  
1597  
1598  
1599  
1600  
1601  
1602  
1603  
1604  
1605  
1606  
1607  
1608  
1609  
1609  
1610  
1611  
1612  
1613  
1614  
1615  
1616  
1617  
1618  
1619  
1619  
1620  
1621  
1622  
1623  
1624  
1625  
1626  
1627  
1628  
1629  
1629  
1630  
1631  
1632  
1633  
1634  
1635  
1636  
1637  
1638  
1639  
1639  
1640  
1641  
1642  
1643  
1644  
1645  
1646  
1647  
1648  
1649  
1649  
1650  
1651  
1652  
1653  
1654  
1655  
1656  
1657  
1658  
1659  
1659  
1660  
1661  
1662  
1663  
1664  
1665  
1666  
1667  
1668  
1669  
1669  
1670  
1671  
1672  
1673  
1674  
1675  
1676  
1677  
1678  
1679  
1679  
1680  
1681  
1682  
1683  
1684  
1685  
1686  
1687  
1688  
1689  
1689  
1690  
1691  
1692  
1693  
1694  
1695  
1696  
1697  
1698  
1699  
1700  
1701  
1702  
1703  
1704  
1705  
1706  
1707  
1708  
1709  
1709  
1710  
1711  
1712  
1713  
1714  
1715  
1716  
1717  
1718  
1719  
1719  
1720  
1721  
1722  
1723  
1724  
1725  
1726  
1727  
1728  
1729  
1729  
1730  
1731  
1732  
1733  
1734  
1735  
1736  
1737  
1738  
1739  
1739  
1740  
1741  
1742  
1743  
1744  
1745  
1746  
1747  
1748  
1749  
1749  
1750  
1751  
1752  
1753  
1754  
1755  
1756  
1757  
1758  
1759  
1759  
1760  
1761  
1762  
1763  
1764  
1765  
1766  
1767  
1768  
1769  
1769  
1770  
1771  
1772  
1773  
1774  
1775  
1776  
1777  
1778  
1779  
1779  
1780  
1781  
1782  
1783  
1784  
1785  
1786  
1787  
1788  
1789  
1789  
1790  
1791  
1792  
1793  
1794  
1795  
1796  
1797  
1798  
1799  
1800  
1801  
1802  
1803  
1804  
1805  
1806  
1807  
1808  
1809  
1809  
1810  
1811  
1812  
1813  
1814  
1815  
1816  
1817  
1818  
1819  
1819  
1820  
1821  
1822  
1823  
1824  
1825  
1826  
1827  
1828  
1829  
1829  
1830  
1831  
1832  
1833  
1834  
1835  
1836  
1837  
1838  
1839  
1839  
1840  
1841  
1842  
1843  
1844  
1845  
1846  
1847  
1848  
1849  
1849  
1850  
1851  
1852  
1853  
1854  
1855  
1856  
1857  
1858  
1859  
1859  
1860  
1861  
1862  
1863  
1864  
1865  
1866  
1867  
1868  
1869  
18



○モンタリジユ・玉音放送の人々の反応

天皇「——朕ハ帝国政府ヲシテ米英支蘇四國ニ対シ其ノ共同宣言ヲ受諾スル旨通告セシメタリ——」

以下、人々の反応——

×ある学校。教壇に置かれたラジオ。教師と生徒たちが耳を傾けている。

×ある民家。祖母が手を合わせる。母が子を抱き寄せる。

×ある兵舎の一角。整列する兵士たち。誰も顔を上げない。

光一「一落瞬ち、一のな、息を止め——」  
光淵「光の澄ん。元、わざかに潤む。が、涙は」  
田光「田のりく。半込ん。は包帶だらけ。」  
田淵「田淵一。も言わず、恐る恐る構え、」  
光田「光一。も受け取る。ぎゅっと力メラを握りしめる。」  
田淵「田淵一。あんたが決めるんじや」  
光田「光一。誰がなんと言おうと、これから撮るも」  
田淵「田淵一。撮りたいんなら、撮れ」  
光田「光一。撮りたいと思つたんじやろ？」  
田淵「田淵一。いや、貸すだけじや」  
光田「光一。撮りたいと思つたんじやろ？」

中 今 藤 中 今 藤  
村 聞 岡 原 村 ま 岡 種 戦 原  
「い」「一」「す」「に」を「  
：て：ど！」か火など民上い忠編会  
：は：う「あ種るう意座る士集議  
」らあい？、「報はに。」会室  
んれうねず揺は5議  
かまこなえるれ藤3が  
つあとあ：か、原（）行  
た。だ、：。軍康（）わ  
で藤？中も舵の英幹れ  
す原「村うを動（）部て  
か編？生誤き5たい  
あ集「まれも1ちる  
？局れば読（）。が。  
」長と、め  
、まる騒ぬ  
まあち擾今、  
だちやの今  
い火敗で岡

○ 同  
○ 帝都新聞社  
天皇  
」

田淵  
「光き手光足光才崩広×：列×中か帝×救×い  
一を元一。れ島：車村ら新護所。  
堪、止伸、、かたの」に立新所。  
へ目めばしビ立ろ家焦×搖×ペチ聞×。×  
難をるすや一ちうの土られ上社、疊に  
キ閉。がが玉止じ中。られをが報に横×  
ヲじ、みがまて、光×る握つ報×横×  
堪る。指込転る音ひ一田りて道たわ  
へ、がむが。がしが淵しい部。わる被爆者たち。  
、触。聞や歩める。記  
忍れてこげ歩いてる焦い。が椅子  
ヒ難たとこれる。げる。たラジ  
キヲ忍ヒで動



光栄	光	○	光直光直光直光直光直光直	直光直光直光直光直光直	○	直光
一「	一	道	一人一人一人一人一人	人一人一	同	人一
拍石光荷	：んい後壞と	（タ）	：（へ：な：い：（へんあ光ほほお食顔を最光直炊校		・	「直人
子に一台	：ねるろれ、	：（へんか？	：（へんか？			！」
に乗のに	「ん。かか前」	は、	「得なで直もえ分」	そのままわ、はくの、が出		お！
、り横は	こらけ方	焼歩	いん？人、？を	う頬よかり戻よ直ひ隣かし		じ
布上を、	ころ、	、たかけい	かと「はい」指	じも！？もつく、人とでばが		ち
がげ通布	り	顔リら跡て	なな、つしや緩	いた、。口見ち行		や
わ、りを	よ、	にヤ掠とい	いくえぱて	けな呼を守やわ		ん
ずリ過か	、	包力れ瓦る	（じえい）	る、吸飲る粥れ		！
かヤぎぶ	お	帶いた礫。	ふやけ撮	けもみよをて		
に力よせ	こ	をを歌が	（）	え落ちみにつる		
、ずうら	ろ	し引声広	えつ撮らんの？	」		
れがとれ	り	たく。	（）	とつるじやろ		
る傾すた	よ	栄早顔る				
、くる何		が織を。				
男そ、	押の上					
性の	し姿げる					
	てる。					

三千三千三千  
る村背晶村晶村晶  
し負「一「一「一「  
か「う愛まじそお津在壁い三内  
の照人があやらう田な新て村（  
うれ間ムたが毎三千ど聞い陽夜）  
でるにチそ、晩村晶がる平  
す）なじが文書、（記。）  
なそるやい章い筆4載炊2  
あ、ん。ながと走5さき6  
「そじい意まりる）、れ出（）、  
がやす地だまよてし  
あけれ悪追すう背い情  
言えはないけに後る報  
わ「広「つ「なか。、紙  
われ島いつら救護所  
たら、報道らん」のき  
や、」こみの所書

○天幕

○ある  
山入天廣  
陽り幕場  
日口が（  
報に張夜）  
貼つ  
仮らて  
広られ  
島たる。  
支紙  
局に  
」は  
の「文  
字都  
。新  
聞／

光  
一  
「  
：  
カ：  
メ：  
ラ」  
に  
貼つ  
仮  
広  
島  
支  
局  
」  
の  
「  
文  
字  
都  
。新  
聞／

光  
早  
光  
織  
一  
「  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：  
：

光 千光 千光 千光 千光 ○  
 よ 晶 一る 晶 一 ミ晶 一晶 一 川  
 「 」「ん」「一」が「 」「 」「 」沿  
 : :はよ 壊あと持 : 津よ 千 : 被吊光い  
 : :いなし: 、つ: 田う晶: 爆る一(一  
 は 大: ?た: 光とそ記け、「者し、深  
 阪: 「あ自一んれ者撮や やて木夜  
 戻: 「 !分のや、「 」つ つ 広いの(一  
 つ ?の首「田たて島く枝  
 たら、に淵のくの。に  
 い壞下のおる 焦紐  
 くしがじ」。 土を渡  
 らてつやが渡し、  
 すもたろ写し、  
 るう力? つてフ  
 かてメ てイフ  
 わ「ラ なん  
 か 。 んる  
 すまん でキ

○ 防空壕  
 な織液像光は入  
 がとの液一わり(一  
 ら葉中の、ず口夜  
 遺のに入フかに  
 体写徐つイな布  
 を真々たル月が  
 運。にバム明か  
 ぶ壊浮ツをかか  
 姿れかト慎りつ  
 °たびに重のて  
 リ上沈にみおり  
 ヤがめ手。り、  
 力るるに  
 |の。取漏れ  
 をはりれるの  
 押、りれるの  
 し早現の

千晶わんも三村 千光 千光  
 晶 一晶 一  
 「 」て本「 」  
 : :社: 光頼ばごた光千  
 : :に: 一んち苦だ一晶  
 「 」僕送早、だば労い、  
 やつ瀬出でちさま入ふ  
 つとさて「 」でん戻つ  
 たるんいす。りてと  
 らの、く。どまく笑  
 とに毎。現がしるう  
 つ、日像いた。  
 くまようしな  
 にだうて塩  
 筆い動き梅  
 折つといまじ  
 つこてすや  
 ても、ま載記  
 すら事

千光  
い晶一し晶一見晶一言た晶一み悟晶一で面晶一：に間し晶一走晶一晶一晶ラ、「あよ」  
と「と「れ」「うが」「たの」「血飾」「：なにか」「足戦？」：置  
る同えつう：んそ：とつじ：い死見！まつ：：」つかつ『：「あ：：い：：あ  
の期？たち：くれ：つとや：にじ出「みた：：と二たわ：と地』：：いた  
にん「んな」なか「たつが」なやしれんあ「つ人でしら」、で  
、はよ、つらそた、つはでじるたとあらペん止田淵  
あず「そたじう。ほてた『倒やと。も、つんの兵士  
いやんんややなんな。言れ：き、勇記ら組ん  
つの記は。んま』最葉と：、武記ら筆をどつ  
らに者：田べは後なきる原田伝書じ：士  
は、と：淵ん違まき、稿淵書じ：だ』持つた男  
東そこ淵が伦『書道の紙撮てのや言とつ  
行そに死あき』男握つ、うが言つた男  
つこちいズ死にの続のつた神て：うが  
て記いと人けるまる写て写話小：う  
大事と嫉越しに人う、た真、真書小：い  
阪も妬に人な帰英でじ戦がい説つ勇  
行書いり雄覚や場一て家のまよ

千晶「それにも、田淵が貸すとはのう：  
津田記者は、田淵さんと同期なん  
だけ戦地回つとつて、なんでカメ

光 中 光 中 中 村 田 淵 中村の声 ×  
一 ア ち 村 一 ん 状 村 一 カ 況 一 社 壊れ 記者 報道部 ×  
「 メ や 「 か 況 「 田 の 上 机 の 室 内 中村の前に光一が立つて  
： リ う す 田 ！ で 、 備 品 内 に は 。 中村の前に光一が立つて  
： カ ぞ ま 淵 ！ す あ 新 品 に は 小宮 、 緒方 、 千葉や他の  
」 も ん 、 す あ 新 品 に は 広島の惨状を撮ったネガと  
睨 で 入 み ほん し や メ ラ 壊したやと！？「  
ん そ 済 つ ま ん だ ザ ラ ！ ？  
ど れ む て ズ カ メ ラ が 資材もろくにな  
る に カ く ん ら メ ラ が 手に入  
状 こ い る ！ ！」 入る思う  
況 ん ！ や 写 お 前 ！  
や 写 お 前 ！  
！ 真 も お 前 ！  
」  
睨 で 入 み ほん し や メ ラ 壊したやと！？「  
ん そ 済 つ ま ん だ ザ ラ ！ ？  
ど れ む て ズ カ メ ラ が 資材もろくにな  
る に カ く ん ら メ ラ が 手に入  
状 こ い る ！ ！」 入る思う  
況 ん ！ や 写 お 前 ！  
や 写 お 前 ！  
！ 真 も お 前 ！  
」

光 千 光 千 光 千 光 千 光  
一 晶 一 晶 一 突 晶 一 晶 一 晶 一 晶  
「 「 「 「 「 き 「 「 「 「 「 う 「 「 「 「 「 ら  
早 織 と 任 せ き と く い も う ん も う ん も う ん  
と 葉 手 た は つ け 人 く い ウ ん ウ ん ウ ん  
の 写 を で い の 光 一 見 よ る に う ん ウ ん  
真 振 て い き 一 看 だ け じ や の う て 、 伝  
が 去 あ 田 向 こ う に お る 人 ま に  
風 に て 淵 も に る じ や つ て 一  
に 携 も り し て く う 。 ゆ う な

光中光中光中光中田光光光記光中光中光中光中光  
一村一し村一村一村や淵一も一残ばが一者のだ一村一村し一村一  
「「ろ」「「」「「」「」」「の」「すつ危「た真が「「「「た「「「  
!立中?」写:力は: : : 中うわ静んかう国ち実い戦なんま: : : 帝都の、建物の、一枚の写真を差し出す。跡形もな  
ち村真:メい: : : 村てしまる! 気。怖:かもや『ネで、广島支局です』: : : お前を广島に送ったん  
会、ははラ「早中」、「らる! 気。怖:かもや『ネで、广島支局です』: : : お前を广島に送ったん  
い立:いは瀬村思真が室」にわい:葬はそと今はガ  
やち:「、「。わ実忠内しか、「らう?」は預かる。今は出せん  
。上その威勢、3ヶ月もずじ誠。とアられ言うじやつですか?  
行がくると、背やを誓う、戦争向! うん誰ますがかほ  
ぞ」、戦争向! うん誰ますがかほい! いで、今は出せん  
は終わったんじますでも社ほんまでも、社の立場だけ  
の前でも発揮! 社のことそれだけ。  
は間違いため息)とありますか?」  
にどんなりますか?」

光一　　光今光　　今光中光中一今　　中光　　中今光　　今　　○　田淵  
 つこ一同撮どあ一岡一や岡一村一村同岡ね俺村一事た村教岡一潰岡　　同  
 てこ「らがとろ」「えた」「育」「す」  
 しに自：にあも考！へ。：つお！：：のちだ：、「教しお：気写焦長原会会  
 ま生分：やな、え」遮こ：！前：：かがが：写戦育とい：か真土机、議議  
 うきが「なるず、つん若」のは早「！無、「真意？ん、」、まのに今が室  
 けと撮らかっとてな造写い瀬？視何ををね中若で写広岡行  
 えつらんもとり（大が真）しがつ削『ん村造撮真げ、わ  
 たん、：：ま考事。やなて残てが撮！あがつ。ら幹れ  
 人か思：：すえにな。あきつなずる！あとられ部て  
 ！々つうじ写：とん言！たた：な！たた被たちる  
 のたたや真：りもい？結？：國』オ「んか爆が。  
 痛らんけを撮ま「考たい」「果！」民と、オマカ爆が。  
 み、でど撮るすえたい「でこ」「感、エ工かい者出光  
 もこす：つ前！「ずもこの情叩部なた席一、  
 ！の「：たも」に焼あ焼を引き下に！ちし  
 焼そこ、撮るけ乱込に？やて中  
 無けれと撮つたんん跡さんどん広い村、  
 う跡ででつたんじはぬでん帝島の。藤  
 なもも、たんや、記き都の。藤



○ 大阪の街（朝）  
通勤通学で賑わう街角。  
田淵 「… やはりのう」  
田淵、新聞を読んでいる。  
小さなアパート。

印刷工場へ夜へ  
回転する輪転印刷機。  
次々に刷られていく新聞。

26

早直栄直和早和早和栄早明栄明○光  
織人一人美織美織美「「「「「「「「  
「「！」「「「「「「「「  
と栄栄や母前直和無：早早栄：：和×：明：でんやん我：明5和学校  
、「！、つち方人美微理：織織、：」美「夫：えと：せ慢：夫：・  
慌反ぱやか」笑は最さ、小栄、あえ治跡：し腫がが、・  
て射りんら口みな近んゴさち早×頷りるは：たれ栄いる。早織、臨時処置室（朝）  
て的、！直をさ、ホくや織くが。元のはの引顔。栄、白衣の吉竹明夫（3）  
栄に栄人開わら喉大ツ頷ん、。とう痛残にう引顔。栄、白衣の吉竹明夫（3）  
栄の背ちゃんあがこかんが丈とく、栄×まんかる戻る。と包帯を外していく。  
後を向んれ駆うつで、夫咳が今が処置室から出でる。  
追け、走り出す。走り出す。

一光  
一「人人々が次々と新聞を手に取つていく。  
紙面手には広島についての特集記事。  
一部手に取る。駆け込んでくると、帝都新聞を  
売店に新規が売られている。  
新聞が売られると、帝都新聞を

○ 同  
校庭（朝）  
早織、血相を変えて走つてゐる。  
辺りを見回すが——葉はいない。  
校庭の端、三村がベンチに腰掛け帝  
都新聞を読んでいる。  
「早織、迷わず近づき、新聞をひつたく  
る。」「あ、ちよつ！ なんですか！」  
三村「あ、ちよつ！ なんですか！」  
早織「早織、食い入るよう紙面を見つめる。  
手が震え——。」

高副官断内閣と「の当顔帝情報該は都報よ告記見新局くで事え聞・やはなを執つ」、い読務た大阪。ん室（朝）の編集局長による判

○ 田淵 中光 中光 中光 中光 中光 中光  
 田淵 で村一 ご村一 村一 が村 村一 村一 帝都  
 「も一立「一際「一廊上：中光中新聞  
 光田光：中御首：腹不つ力立子光廊上：中光中新聞  
 一淵一：村のに：や慮「メやつ供一下の：村一村一  
 、「と、」字な「」のラガ、一との判こ「デ、社  
 黙目拳歩やら事故こ|つ入中向断のス駆歩・  
 つがをき。ずでと「な方のう「真、クけい大阪  
 てあ握出欲で通も「が姿か、これじや  
 田うりす張写通しも「が姿か、これじや  
 淵。、る真ある！」「が姿か、これじや  
 の踵なが載たが、それでも止めてく  
 の横を返す。それだけは  
 通り過ぎる。

○ 大阪の街（朝）  
 取した焦土雜踏の中、  
 芥が広島の荷車の光  
 。を引くの写真の中に、  
 早織にが切りを

光一「」  
 焦土雜踏の中、  
 芥が広島の荷車の光  
 。を引くの写真の中に、  
 早織にが切りを

○ 大阪の街（朝）  
 取した焦土雜踏の中、  
 芥が広島の荷車の光  
 。を引くの写真の中に、  
 早織にが切りを

○ 大阪の街（朝）  
 取した焦土雜踏の中、  
 芥が広島の荷車の光  
 。を引くの写真の中に、  
 早織にが切りを

○ 匣・會議室

日本側は繩方竹虎（57）'、松前重義（44）'、随行員たちが並ぶ。

対して、アメリカ側はエリオット・ソープ（47）'、「ナルニア・バー（42）' や通訳がいる。

ソープ「First, let me be clear. We are not here to run your press like YOU did during the war」

通訳「我々は、日本が戦時中に行っていたような検閲を行ひやうはありません」

日本側「-？」

フーバー「We will censor only when we must. For

○ G H Q 本部・外観（一週間後）

○厚木基地（二週間後）  
T・昭和二十年八月三十日  
各国の報道陣や関係者が整列している。  
空から一機の四発輸送機が飛行場に接近してくる——C54。  
着陸すると同時に、軍楽隊の演奏が始まる。  
C54が停止すると、タラップが降ろされる。カメラのフラッシュが一斉に  
5光り——ダグラス・マッカーサー（6）  
姿を現す。  
コインパープをくわえ、堂々と

高官「広島、ひいては長崎の惨状を國際社会に知らしめれば、人道違反として非難が集まるだろう。トルーマンも、チャーチルも副官「戦時國際法違反として糾弾することができる」副官「国外の世論を味方につけるおつもりで？」

高官「その通りだ……それで、肝心のアメリカは？」

副官「それが？」

輸送機の音。

security. Nothing more.]

通訳「検閲は必要な時にだけ行います。治安

維持のために必要な場合のみです」

go ayuntamiento. No debate

通訳「連合軍司令部の公式発表は、必ず報道してもらいます」

日本側「！」

But as for opinions, editorials, photos - you

make the call.]

通訳一ですが、社説、論評、写真に掲載は各紙の判断に任せます」緒方と松前、顔を見合わせる。

○元内閣情報局・執務室（二日後）

机の上に、一言論及び新聞の自由に関する覚書。言論の自由に対し、「最限度ノ制限」という文言。高官と副官がいるが、高官の顔は見えない。  
高官「最小限の制限とは……つまり、我々に判断を委ねた、ということか」  
副官「閣下、それは……」  
高官「なんだ？ この間の会談でも、掲載は自由選択でできると話していた。これまで通り、我々の裁量で、新聞放送を統制できる、そういうことだ」  
副官「……」  
高官「各社に通達せよ。新聞・放送は引き続き、情報局の検閲を受けること。マツカサ！」司令部の発表でも、例外ではない」

○ G H Q 本部・執務室（一週間後）

ブランドフォード・スミス（36）、  
デスクの上に日本の新聞を叩きつける

↖ „↖ 「 Every fucking morning, the same damn  
headlines! ( 執 署 執 署 ’ 米 此 の 風 情 “せ か い  
だー。)」

デスクの上には山積みになつた日本の新聞各社の新聞。

ソープとフリバー、苦々しい顔。

↖ „↖ ↖ 「Looting, assault - but not a word about their own war crimes! How convenient!」 (盜賊、暴行などは言及しないで、彼らの戦争の罪悪性を隠すのが何より便利だね)

ハーバー 「What's the play? ( ハーバー 「何の手合だ? )

ソープ「Remind them who holds the pen（筆を知れ）」

卷之二

○帝都新聞社、華通部（數日後）  
中村、電話の受話器を置く。

光一、小宮、千葉、緒方、記者たちの

中村 「… 同盟通信が配信停止になつたばか  
    驅きが止まる

止を喰らつた一  
りやがて今度は朝日が二日間の發行停

光 話 者 「たちや」山一郎の記事、ですか」

中 村  
て や  
や 一  
つ あ  
や あ  
. :  
G :  
H —  
Q 原  
に 子  
し 爆  
て 弹  
み 投  
り 下  
や は  
、 戰  
耳 争  
障 犯  
り 罪  
や 』

千葉つたんやはろちも次つてこと、ありますかね

と、帝都新聞の紙面。広島の原爆についての記事。

落ち込む記者たち。

「と、職員、駆け込んでくる。

記者たち「！」

重苦しい空気が漂っている。  
中村の机を挟んで、G H Q 担当官とケン・タナカ（25）が並ぶ。  
机の衝立の裏には光一、小宮、千葉、  
緒方ら記者たちが声を殺して様子をうかがつている。

█ ┌ We are here to collect all records concerning  
█ ┌ the atomic bomb ]

ケン「原爆関係の記録を接収しにやもした」  
記者たち「！」

光一「……」

中村「記録ですか……やうやくんな」

光一「……」

ケン「He says that is not possible」

担当官「……This is an order from General Headquarters. Not negotiable」

ケン「われは総司令船の命令です。交渉の余地はありません」

中村「承知してまへせ。せやけど、記録ちゅうのは、元より報道の責任の一端でしてな」

ケン「The records are part of their press responsibility」

担当官「That responsibility is now ours. Hand them over」

ケン「その責任は我々が引受けね。手渡してください」

中村「……なるほど。せやけど困ったな。ちょうど、資料整理の真っ最中でして」

記者たち「！？」

千葉「（小声で）え、どうこわいだ？」

小富「……」

ケン「They are currently organizing the records」

担当官「We'll wait. Bring everything you have」

ケン「待ちまよ。でもかん、全て持つてやくください」

中村「（微笑む）ほな、全部揃うまでに……ひとつき、いただけますかい？」

光一「-」

ケン「They are asking one month」

担当官「……」

中村「なにぶん戦時中のバタバタで資料もバラバラさかい。そんまお渡しするんは、

流石に失禮でっしゃろ？」

ケン「The documents are scattered due to wartime chaos, and it would be disrespectful to hand them over in such a condition」

担当官「That's inefficient. We'll collect them ourselves」

ケン「それは非効率です。我々が収集しあず」

中村「（苦笑）ほな困りますわ。じつねむいも、極めて大事な国家報道の最中なんで



ケン——「I AM NOT JAPANESE!.....; I am not.....！」（日本  
人じゃない。日本人では）」  
担当官、鼻で笑うと、歩き出す。ケン、  
ついていく。  
光——「：：返せやつ！」  
堪えきれず、光一、飛び出す。  
兵士たちが腰の銃に手をかける。  
中村——「早瀬つ！」  
中村が光一の腕を強く引き戻す。  
「——「じやが、やめろ！」  
「——「ネガより大事なもん、落とすな！」

担当官たち、倉庫から出でくると、  
光一が立ちはだかる。  
「待つてください！」返してください！  
「これは我々の権限で接収します」  
「それが無うなつたら、何も残らんのじ  
あんたも……同じ日本人じゃろう

ケン「I AM NOT JAPANESE!……I am not……！」（日本  
人じゃない。日本人では）  
担当官、鼻で笑うと、歩き出す。ケン、

○ 同  
・  
地下倉庫 中村が先頭に立ち、無言で入る。  
その後ろに担当官とケン、兵士2名。  
記者たち、扉の外から心配そうに伺う。  
兵士たち、無言で探す。  
と、一人の兵士が輪転印刷機のメンテナンスハツチに手をかける。  
「！」 Found it（見つけました）

同

中村 「……他は、焼却処分しましてね」  
ケン 「 The rest were burned 」  
担当官 「 Funny. I've been told there's more - in your storage 」  
ケン 「倉庫にまだあると聞いています」  
光一 「…」  
中村 「……これは謡報でしょうな」  
担当官 「 Show me (案内したまえ) 」

うなかつたんですね。これから先、一生、背負うていかんといけんです。それを、あんたは、勝手に撮つて、勝手に載せたんですね。うちは、母親です。あの子を守るためなら、なんでもします。二度と、うちの家族を見世物にせんといくてください

○ 同・廊下(夕)  
光一「あつ、早瀬記者！ 読者からのお手紙  
です」  
職員「あつ、早瀬記者！ 読者からのお手紙  
です」  
光一「肩を落とし歩いている光一。  
向こうから職員がやつてくる。  
と、封筒の束を差し出す。  
職員「大反響ですよ」  
光一「ありがとうございます」

光中  
一村  
「報道は、  
担当官が無言で歩き出す。  
担当官が瞬だけ振り返るが、すぐに担

光田光　田光　光　　○  
 一淵一　淵一　一　　飲み  
 「　」「　」「　」「　」「　」  
 ネ：も光：|田：光薄屋  
 ガ：う一：|淵：一暗（  
 も）のんが、「い夜（  
 全部終隣。入一カ  
 わに田つ人ウ  
 り腰淵てでン  
 取られでをさく  
 れす下さんる  
 るてわろじや  
 ます。」  
 拳句、あの子  
 すか：：

早織　頑気織　早織　早織　早織　早織　早織　○  
 張じ「（　）か「（　）思（　）」  
 背おね血早菜るや（　）咳（　）部（　）」  
 中米んを織のけけ独（　）。が（　）屋（　）  
 。をね洗（　）横（　）。り落（　）の！  
 研んい涙た（　）菜（　）言（　）  
 ぎこ流（　）をわ（　）が（　）着（　）に  
 なろす拭（　）る元（　）き（　）ほ（　）移（　）  
 がり。う背（　）氣（　）、「（　）つ（　）動（　）  
 らよ、と中（　）に大（　）手（　）、「（　）  
 子、（　）な丈（　）のけ（　）、「（　）  
 守お台（　）所（　）まる夫（　）ひほ（　）  
 咽ころへま（　）母（　）ひら（　）つ  
 歌を歌（　）りよ戻（　）り、母（　）ち（　）  
 う早織（　）の水（　）で、ち（　）ん、元（　）  
 、

○本郷家・外観（夜）  
 「本郷」の表札。



直人	直人	直人	○ 本郷	直人	直人	直人	○ 吉竹家・居間（朝）
で	人	人	・	和	美	人	縁側で足をぶらつかせている直人。
「	！	「	」	「	「	「	：
手	あ、	直	×	包	ん	母	：縁側で足をぶらつかせている直人。
か	る	人、	：	帶	？」	ちやん	：縁側で足をぶらつかせている直人。
玉	袋	本	×	無	、	直人、	和美、鍼作業をしている。
が	が	郷	：	造	周辺（朝）	近づいてきて、	和美、鍼作業をしている。
地	が	家	・	作	（朝）	い	：縁側で足をぶらつかせている直人。
面	滑り	の	周辺（朝）	に	辺（朝）	け？	：縁側で足をぶらつかせている直人。
に	転落	玄	（朝）	卷いた	（朝）	！	：縁側で足をぶらつかせている直人。
が	が	関	（朝）	包帯	（朝）	「	：縁側で足をぶらつかせている直人。
ち	ち	が	（朝）	持つて歩いて	（朝）	」	：縁側で足をぶらつかせている直人。
つ	る	く	（朝）	いた	（朝）	」	：縁側で足をぶらつかせている直人。
て	。	く	（朝）	包帯	（朝）	」	：縁側で足をぶらつかせている直人。
い	く	く	（朝）	持つて歩いて	（朝）	」	：縁側で足をぶらつかせている直人。
く	。	立つ。	（朝）	いた	（朝）	」	：縁側で足をぶらつかせている直人。
		来た	（朝）	包帯	（朝）	」	：縁側で足をぶらつかせている直人。

○ 帝都新聞社・屋上(タ)ていてる。が、大きく  
中村 中村 小中小 小中  
中村 中村 わ宮れ村宮が村宮言村たう宮村宮器とつ「なえ?」金か?  
「が一正「い「こが」「用「戦!」|「なんの話で出世か?」  
「乾一とま、おし:違た:と。そな争「それとも、やつてくる。  
「い瞬:あ一前:い:うい:見:それ争は帝都のためには憲兵におべつか使  
はに残る町ほたの去番は「とかんん俺山で何人密告して、黙認して、逮捕され  
歩つ町ほたの去番は「とかんん俺山で何人密告して、黙認して、逮捕され  
早い街(日替わり)まい黙てしち最初ぶ悪最初わ。かおありふりして、黙認して、逮捕され  
織か並みの手紙。た漏らと、くといからんだ?」前とありますて、黙認して、黙認して、逮捕され  
らの手紙。ち悪す堪やや正しくんらかが、「同じたが記してきたでしょ?」  
中、光一が地図をあれず、中村、中、光一が地図を



和光 和光 和光 和光 和光 ○  
 美一美一た美一美一：美一ん美一 吉  
 「」「」「」「」「」「」：「」「じ」「」「竹  
 特なお：う：う：」：：やこ和：記光家  
 にん母：ち：ん：：：ろの美：事一・  
 、でさ」、」。最切あ？写、「の縁  
 おじん 兄最低りあ「真や手側  
 にやの ちやん低じ取「、つ葉に（  
 ぎろ手 ちやんじやられて、ほてが、夜）  
 りうえん やなんきり帝  
 握のばつ 摄る撮て、まてヤ都  
 つとるか撮りよつは光力新  
 とるとこ、なんべ 撮りよつ都合よう、一聞  
 なんべたよな 好きじやつ、早の織  
 んべたよな使われて、織隣さんを引く。  
 んべたよなもいいたん座りく写真。  
 んべたよなもいいたん座りく写真。

千田 千田 千田 千田 千田 千田 田 千 田  
 晶淵 や晶淵 向晶淵 と晶た晶淵 と晶淵 淵晶 淵  
 「」「つ」「い」「や」「男」「ん」「へ」  
 たあ：と腹：つ：じ：か何「千！辛  
 けい：るは：た：や：い年氣晶 氣晶  
 つえつ千方百立」と複。あもま、臭  
 の、晶がつ思雜見んず田：いや  
 あ、「とる。うじたたの見い）の顔  
 んもつ。もつ。けやな（の見せん：千晶  
 たがとじやがえ：い旦那、で、「隣  
 が撮立がん、あんの：じや、で、「に  
 つた写真、よ」「あや、で、「座るの  
 好きじが下たが下たが下たが下  
 同じこ撮つ撮つ撮つ撮つ撮つ

田 光 千 光 田 光 光 田 ○  
 淵 間 一 晶 一 淵 い き 一 一 淵 天  
 「に 一 びん 一 幕  
 :か 伝 :自 ? せ よ :誰 :会 天 ( )  
 :使 え :分 一 う :も :え 幕 朝  
 うる は こ に 謝 言 間 の )  
 たつ 、 と :り 葉 に 中  
 めも あ が :、 が 合 つ 。  
 のり の あ じ た 出 わた 光  
 写で 家 る や か な ん 一  
 真撮 族 ん が つ い じ か と  
 につ を で :た 。 や 田  
 なた 、 す :。 つ 淵  
 つ写 消 費 」 本 で た と 津  
 と真 当 も で す 田  
 つが し は 、 す  
 た て そ  
 い も う  
 つ の た

光 一 一 一 一 一 ○  
 「レ 光 ら 光 朝 光 早  
 :シ ー す ー 日 ー 朝  
 ズ 、 の ー が ー が  
 越 ゆ 背 昇 歩  
 し っ 中 里 歩  
 。 く り を 始 歩  
 崩 れ と 押 始  
 た 力 よ る い  
 広 メ ウ う  
 島 ラ に  
 の ラ を 、  
 街 構 光  
 並 え ガ  
 み る 道  
 。 。 照

光 和 光 和 光 和 光 和 光  
 一 好 美 不 が 美 一 し 一  
 「き 「器 つ 「「 か 「と 「も  
 和 じ う 用 た 兄 う う う  
 美 ゃ ち で お ち た た な  
 、 あ け 、「 も に ゃ な  
 笑 り 一 光 一 ぎ 一 形  
 う が 兄 一 生 懸 一 手  
 。 と の 、 う う う う う  
 崩 れ と か ち ち ち う  
 た 力 よ う ち ち う  
 広 メ ウ う ち ち う  
 島 ラ に ち ち う  
 の ラ を 、 ち ち う  
 街 構 光 ち ち う  
 並 え ガ ち ち う  
 み る 道 ち ち う  
 。 。 照 ち ち う  
 」



田 淵	千 つ	田 晶	光 中 光	中 光	中 光	中 光	中 光	光 千 中 千	中 光		
「	「	「	一す 村	一こま 村	ま 村	一逃 写 村	一お 村	ま 一	一 晶 弱 村	晶 津 や 村	一 紹
：：	へ： 天	： 幕	つを お！	やや こと	正： 道	がだ： ら：	す： て	中 ×	い： 中	さほ： 村	かん： そ
：：	： 前	： よ	れ！	やこ	とこ	道が： の：	く 村	： 村	ら： かん	ほい： かん	か、 ぱ
」	内	はめ	ら	。か	光で	言	探る	、	、「	社	れ、 もち
に	。×	い	へが	で	ら一	えう	すかは	中	、	長	やも
対	田	： ん	諦	もも	をえて	ん、	持や	る	ふん。	ら	ちカ
し	淵	： :	め	な	俺見	ん、	ちて	中	とま	長	アメリカ
して	と	×	！	： ん	、は	てか	デ	天 ×	涙	や	ミ
）	千	「	限	そ	悩	しん	幕	、	決	も	ミ
なん	晶	—	り	の	む	度	ス	と	の	ち	アメ
なん	の	、	、	の	迷	。	カ	か	笑	と	アメ
のみ	。	俺	俺	も	ど	う	幕	ら	惡	た	アメ
んじ	。	は	に	何	事	い	ス	、	一	許	アメ
や	、	、	何	こ	折	事	カ	出	ま	た	アメ
あ	、	、	時	れ	れ	りば	タ	×	り	と	アメ
い	、	、	や	ら	ら	ん記	タ	出	可	ら	アメ
			、	、	、	わ	、	入	い	ら	アメ
			べ	と	も	元	、	け	、	じ	アメ
			ぶん	も	度	ク	、	し	と	じ	アメ
			も	あ	。	タ	、	あ	と	じ	アメ
			つ	有	う	ば	、	る	、	じ	アメ
			げ	る	い	事	、	る	、	け	アメ
			道	立	と	り	、	る	、	け	アメ
			探	つ	も	る	、	る	、	け	アメ
				止	っ	か	、	か	、	け	アメ
					ち	か	、	か	、	け	アメ
					ほ	か	、	か	、	け	アメ
					ん	か	、	ら	、	け	アメ
						、	、	い	、	け	アメ



田淵「…る田淵。その姿を、少し離れた場所から見つめ  
○モンタージュ・光一の奮闘  
光一、瓦礫の町を駆け回り、  
市民に頭を下げ、話を聞き、  
カメラを構えては必死にシャッターを  
切つている。  
千晶「…社長！」  
光一・田淵・千晶「…！」

○牛舎（夜）  
古びた牛舎。光一、田淵、千晶、三村  
が入つてくる。牛はいない。  
奥に輪転機が、シートをかぶせられた  
まま置いている。

(タ)  
バタンコの荷台に座る光一、田淵、千晶。  
瓦礫と砂埃が舞うガタガタ道。

光三田千光田千田三田千光  
一持村れ淵晶一倉淵晶淵村淵せ  
「つ「る「—庫「—！」な  
：か：前無無！に—！」ら、  
：：に茶茶突日、  
：あ：そ、苦茶茶込いや、  
のやの代、こつでえん、  
、けどりがえん、  
輪転機は、「輪轉機が走り切る」正  
機は、「どこまで保

始めとるらしい」  
められたら、やはりの」「  
その前に即刻止めに来ますよね？  
前に刷りやあええ」「  
機を狙う」刷つた分は  
から叩か

出来上がりましたね！」  
G H Qが地方紙にも目を光ら  
机の上には見本紙。三村がいる。

光田光  
一淵一  
「「「  
切光はしだ力光と、  
つ一いつ淵メ一、背後からシャツタ一音。  
てと「か、ラ、振  
い田りさを振り返る  
る。ん持と、  
並見前：つ田淵。  
ぶようとけ」  
にシヤツタ一を

三田三  
村解淵あ村  
一版一た「  
や作何あは一問×汗は直歪イガ再×光し！かど悲ゆ鈍電埃紙イ×現シ：光執も社はけ爆：  
一業言待あ同題だいせんンタび一や？、う鳴つい源ををンす一：一念知長、疎弾：  
、もうつあ、なく！！どクンスとん」紙しのく音、拭セク。ト急、じらがな開が牧  
そせとだ。ホく×でーるがツイ×三しがたよりが入きツを×にぎ輪やん、んさ落場  
りんるけこツ動刷！飛、ツ村や、んうと響れ取ト流手ま転なか目とせと？  
やと。かれとい版びチ、ん詰でな回くるるしをを機：つえいとされ  
あ、あ」ですて×を散ギオ×必取ます音り。ぞ光、込×かよに：た覚つれる  
言他と一るい押りギン死れつ？が始一みけう近一までたる  
わの二仕。るさ、ギ。で！と」。めたるづさもそ前  
んも日事輪え刷ツ紙りるちと、  
で刷分終転直版！を時ます輪。  
つれあえ機すが取間す轉機。  
かんるましま。光ズるが！機。  
あんじたね。一レる。ねだが  
さいや。ぞえぞだが  
」。う！姿を

光千三  
一晶村  
一「  
や  
一業言待あ同題だいせんンタび一や？、う鳴つい源ををンす一：一念知長、疎弾：  
、もうつあ、なく！！どクンスとん」紙しのく音、拭セク。ト急、じらがな開が牧  
そせとだ。ホく×でーるがツイ×三しがたよりが入きツを×にぎ輪やん、んさ落場  
りんるけこツ動刷！飛、ツ村や、んうと響れ取ト流手ま転なか目とせと？  
やと。かれとい版びチ、ん詰でな回くるるしをを機：つえいとされ  
あ、あ」ですて×を散ギオ×必取ます音り。ぞ光、込×かよに：た覚つれる  
言他と一るい押りギン死れつ？が始一みけう近一までたる  
わの二仕。るさ、ギ。で！と」。めたるづさもそ前  
んも日事輪え刷ツ紙りるちと、  
で刷分終転直版！を時ます輪。  
つれあえ機すが取間す轉機。  
かんるましま。光ズるが！機。  
あんじたね。一レる。ねだが  
さいや。ぞえぞだが  
」。う！姿を

田光三  
淵一  
一「  
や  
一業言待あ同題だいせんンタび一や？、う鳴つい源ををンす一：一念知長、疎弾：  
、もうつあ、なく！！どクンスとん」紙しのく音、拭セク。ト急、じらがな開が牧  
そせとだ。ホく×でーるがツイ×三しがたよりが入きツを×にぎ輪やん、んさ落場  
りんるけこツ動刷！飛、ツ村や、んうと響れ取ト流手ま転なか目とせと？  
やと。かれとい版びチ、ん詰でな回くるるしをを機：つえいとされ  
あ、あ」ですて×を散ギオ×必取ます音り。ぞ光、込×かよに：た覚つれる  
言他と一るい押りギン死れつ？が始一みけう近一までたる  
わの二仕。るさ、ギ。で！と」。めたるづさもそ前  
んも日事輪え刷ツ紙りるちと、  
で刷分終転直版！を時ます輪。  
つれあえ機すが取間す轉機。  
かんるましま。光ズるが！機。  
あんじたね。一レる。ねだが  
さいや。ぞえぞだが  
」。う！姿を

田淵  
一「  
や  
一業言待あ同題だいせんンタび一や？、う鳴つい源ををンす一：一念知長、疎弾：  
、もうつあ、なく！！どクンスとん」紙しのく音、拭セク。ト急、じらがな開が牧  
そせとだ。ホく×でーるがツイ×三しがたよりが入きツを×にぎ輪やん、んさ落場  
りんるけこツ動刷！飛、ツ村や、んうと響れ取ト流手ま転なか目とせと？  
やと。かれとい版びチ、ん詰でな回くるるしをを機：つえいとされ  
あ、あ」ですて×を散ギオ×必取ます音り。ぞ光、込×かよに：た覚つれる  
言他と一るい押りギン死れつ？が始一みけう近一までたる  
わの二仕。るさ、ギ。で！と」。めたるづさもそ前  
んも日事輪え刷ツ紙りるちと、  
で刷分終転直版！を時ます輪。  
つれあえ機すが取間す轉機。  
かんるましま。光ズるが！機。  
あんじたね。一レる。ねだが  
さいや。ぞえぞだが  
」。う！姿を

光田千三  
淵ち晶心台村一  
一「  
や  
一業言待あ同題だいせんンタび一や？、う鳴つい源ををンす一：一念知長、疎弾：  
、もうつあ、なく！！どクンスとん」紙しのく音、拭セク。ト急、じらがな開が牧  
そせとだ。ホく×でーるがツイ×三しがたよりが入きツを×にぎ輪やん、んさ落場  
りんるけこツ動刷！飛、ツ村や、んうと響れ取ト流手ま転なか目とせと？  
やと。かれとい版びチ、ん詰でな回くるるしをを機：つえいとされ  
あ、あ」ですて×を散ギオ×必取ます音り。ぞ光、込×かよに：た覚つれる  
言他と一るい押りギン死れつ？が始一みけう近一までたる  
わの二仕。るさ、ギ。で！と」。めたるづさもそ前  
んも日事輪え刷ツ紙りるちと、  
で刷分終転直版！を時ます輪。  
つれあえ機すが取間す轉機。  
かんるましま。光ズるが！機。  
あんじたね。一レる。ねだが  
さいや。ぞえぞだが  
」。う！姿を

光一	「光晶、田淵、三村、一同、「！」	「光晶、田淵、三村、「山陽の記者、ですかね？」	「光晶、「牛舎の外から何かのライトの光。でも大丈夫ですよ。ここまでくれば」
光晶	「一旦止めろ！」	輪転機が止まる。	「牛舎の外から何かのライトの光。に抱え、麻袋に詰め込んでいく。光一と三村、刷り上がった新聞を必死に抱え、麻袋に詰め込んでいく。
田淵	「田淵、「どこに！」	急げ！隠すんじゃ！」	田淵、「田淵、「どこに！」」
三村	「三村、「裏の、藁ん中じや！」」	× 麻袋を抱えて走り出す光一と三村。	三村、「田淵、「裏の、藁ん中じや！」」
一同	「一同、「アメリカ兵たちが、ズカズカと入つてくる。ケンもいる。」	× アメリカ兵たちが、ズカズカと入つてくる。ケンもいる。	一同、「田淵、「田淵、「田淶、「あなたたち——」」」
田淶	兵士1 「What are you doing here?」	× ケン、「田淶、「（遮つて）ウイーアージャストトーキング」」	田淶、「田淶、「田淶、「田淶、「…」」」」
三村	兵士1 「… At this hour?」	× 兵士1 「…」	三村、「田淶、「田淶、「田淶、「…」」」」」
田淶	兵士1 「Ok. Then we are leaving」	兵士たちが輪転機に近づき、無言で隅々まで探り始める。	田淶、「田淶と千晶、やっと顔を見合わせる。
三村	兵士2 「Sir!」	千晶「アンタラ、新聞屋の機械なんて見ても面白うないで」	千晶「田淶と千晶、やっと顔を見合わせる。
田淶	兵士1 「！」	兵士1 が輪転機の奥まで手を伸ばす。が、何も出てこない。	田淶、「田淶と千晶、やっと顔を見合わせる。
田淶	兵士1 「すみません……」	田淶、「田淶と千晶、やっと顔を見合わせる。	田淶、「田淶と千晶、やっと顔を見合わせる。
三村	兵士1 「Give me that bag」	田淶、「田淶と千晶、やっと顔を見合わせる。	田淶、「田淶と千晶、やっと顔を見合わせる。

兵士、光一から容赦無く袋をひつたく  
る。

光一 「ハー！ それは……」

袋が引き裂かれ中身が出来る。薄っ  
くらい新聞紙の束。

一回 「…」

兵士 1 「So you are hiding. Translate it」  
ケンがゆっくりと歩み寄り、床に落ち  
た一紙を拾い上げる。  
と、ケンと光一の皿がぶつかる。

光一 「…」

光一 「…」

兵士 1 「Translate it」  
ケン 「…」

光一 「…」

ケン 「…」

兵士 「Hey! Translate it」  
ケン 「… … Just daily updates on food distribution and  
recovery reports」

兵士 1 「What？」

光一 「？」

兵士 1 、ケンから新聞をひつたくなり、  
読む。

田淵 「… …」

兵士 1 「But this photo. What is it？」

ケン 「It's a reprint」

兵士 1 「Reprint？」

ケン 「Yes. From an American magazine, Pacific Times」

兵士 1 「I haven't heard of it. Fellows? Heard of Pacific  
Times？」

他の兵士たち、首を振る。

千畠 「… …」

三村 「～」

ケン 「Small publication. Not big in New York, but back in  
my hometown, Mississippi, it's pretty popular」

兵士 1 「Mississippi, huh？」

ケン 「Sir, we're just wasting time here」

兵士 1 「此十人、米大陸だ。

光一 「… …」

和 明 ○  
美 夫 同  
「 「 「 」  
： 直 う や 和 居  
： 人 ん り 美 間  
」 、 よ と (  
や つ 明 朝  
つ た 夫 )  
て の 、  
く 山  
る 陽  
。 日  
報 を 読 ん  
で い る  
。

配 ○  
達 同  
員 吉 竹  
和 の 和 家  
美 声 美  
、 「 、 庭  
手 新 洗 ( 、  
を 聞 灌 朝  
止 で 物 )  
め す を  
る 干  
し て  
い る  
。

光 田 光 三 千 三 ○  
一 渕 一 村 晶 村 同  
「 「 「 「 「 「  
朝 着 一 は お は 口 あ みん 千 出 朝 外  
日 実 同 い い い 動 い ん で 晶 来 燒 ( 、  
が に 、 。 、 や い か 、 な い 、 上 け 早  
昇 新 疲 届 ま つ す 眠 、 る 三 が 。 朝  
り 聞 労 け だ と 暇 い 目 。 村 つ  
切 を で ま 終 、 「 あ が が た  
り 積 フ し わ こ つ 、 赤 ト 新  
、 み ラ ょ つ こ た く 、 ラ 聞  
牛 上 フ う と ま ら 、 ツ 束  
舍 げ ラ 「 ら で 手 ま ぶ の 、  
を て に ん 来 え 動 た が 荷 光  
照 い な ぞ ま し 動 か 台 一  
ら く り 「 、 ま し た が 台 一  
す 、 な た か し 重 い 詰 田  
。 が ら ね 「 、 詰 淵  
。 ガ ら も 、 、 込

光 三 田 一  
一 村 渕 同  
「 「 「 「 「 「  
： は 光 兵 て ケ と 、 兵 手 を  
： い 一 士 頷 ン 、 士 を  
」 つ や た た く は 光 た 振 っ  
！ る ち ち 。 何 一 ち  
」 ぞ 、 を も と は  
「 い 乘 言 ケ 無 部  
な せ わ ナ ン 下  
く た た ず の で  
な じ ウ 、 目 牛 ち  
な つ 一 わ が 舎 を  
た づ 、 を 促 す  
の が か 合 出 す  
を い に う て  
見 つ 顎 、 い  
届 て く く  
け い 、 引  
い く 。

兵 士 1

「 Alright」

光	光	光	○	光 直
無か『柱一 うが写にN	るもと一 か先はN	とそ水るは一 いの道。、N	モ	いるで一人
製今藤小千   ×な覚真寄Aじ苦   × 版岡原宮葉   つえをりーつ々	らに難A情   ×救市商う一の記今A   だ日しー報   護電店証つ蛇者もー	ンタ	上。はの「 げし復事新	
室ははは、帝てと撮かあとしG	々い被局あ所の街と一口は人爆市ジユ		られし、復興・新聞	
に忌ニ複緒都×しちらかる記いH×	の。災のる×の中のなつ、々心井ユ		て、のNを	
い々ヤ雑方新までれり女事顔Q	生そ者元執中で店つが崩焼が地の。		いそ槌A読む	
るしり。は聞うくるな性をもの	活のの高務で読先て、れけ手から人々記事		なの音一)	
貴そと嬉社×』れのがが読み反×	を多方官室×涙むでいこか焦探ら人々の		い瓦が焼む	
志う笑しのんはら、むれ応	繫く々。。を通新るこけげりニ反説		声礫少け:	
は。いそ人と、わ者ば。	ぐがの顔流勤聞」にたたでキ反応		がのしだけ:	
嬉、う々	こ、声はし中を人床三日口反応		残隙と	
し。の反	と言を見なの読がの輪々離にだ人		さ間つな	
そ。う応	に葉拾えが男む暮間車を離れ合		れに響つ	
。	追にいなら性老らを、つたわわの		てはきた	
	わす上い読。人し目曲なあせの		い、始広	
	れるるげ。む。てにがいるて反		るまめ島	
	てよる女。いしつで町応		」だての	
	いりこ性。たたたいで。		拾い街	

光田　　田光田光田光　　○  
 一け淵　ん淵一が淵一淵の一　一淵一淵一淵一淵ら一　河  
 「え」　「残」　「に」　「」　「」　「」　「」　「」　「」　「」　「」　「」  
 二はの行光　あ：つ踏：：：光地：ほ伝そ：そな本記光子敷  
 人い「く一　あ：とみ：：：一面：うえり：うれくの事一供（  
 、」　ぞ、　。報り潰「生」1、にあかるや壁なはな報はと達夕  
 並。立　わ道やさえ　0近草れ「こ、新つ：る道出田の  
 んわちしもあれる　0寄の？　と原聞た：かがせ淵笑  
 でし上ら、よも年つよ「が始出ら」もどまがい  
 歩らががそまうんはてう　で的しどしがし歩声  
 のる折うたがは、な　きでまうれあたいが  
 出す道。れあ芽、草そもりえすすんなけて聞  
 はんりを焼生木つのやえ「んのるどいこ  
 、かた吹かえはとがあのじうか、るえ  
 まだぎいくれる生触生「うや」：正。る  
 続りで「よ」：えれええ「？」：直。  
 いと絶「すう」：言。い  
 やせ種うる「うる」：これ  
 る。た。」

光　　光　　光　　光　　光　　光  
 い人一　る顔を一  
 々N　たや、N  
 空中　がA帝め名そつ「  
 は村　い「都にをつと焼  
 晴、　るだ新避出と抱けた  
 れ空　これが聞けす抱けた  
 てを見　と、社ねこ寄せられた  
 いる。　をそのばとは、こ屋なは、  
 上げ。　どに上ら、る母肌  
 う確。な人親を  
 かか中い々のの隠  
 忘に村「のの姿そ  
 れ生、　こ姿そ  
 なき読れがう  
 いてんかあと  
 でいでらつす  
 ほるいをた  
 しる。守。娘  
 。」

○ 光 三光 三  
同 一料村一村  
・ 「でーーー  
光段資 : す届な : 三め光わ暗  
一ボ料 : きん : 村黙一ず室  
、一室 帰 まじ早々か  
三ル( つしや瀬5と5な  
村箱タ てた、さ4作8赤  
、が き : 編ん(業(い  
若積 た : 集。を光  
手ま か ア局や入し現が  
記れ 」 メ長つって像室  
者て リがぱてい液内  
たい 力直りくるにを  
ちる か々こる。フ照  
が らにこ。 イら  
黙 の「で ルす  
々 返し ふ。  
と 返還したを沈  
箱 資か 沈

○ 帝都  
同 新聞  
・ 道代社  
近的画  
ラテ  
ツレ  
クビ  
か画  
原面  
ラ面  
降。  
ろネ  
さガ  
れが  
て入  
いっ  
るた  
。資  
料  
箱  
ト

テ  
報こたレ  
道れ原ビ  
ラテ「写に爆の街×の電×子ドー静Tの街  
ツレ真は関音の下車ども向な1モ  
クビ、連声家を通り×たムの向な1モ  
か画原当資一電×走り×たう沿7モ  
原稿時料本店つ。ちが前を、い3タ  
島降。占が日。て市が原年1ジ  
支島降。そ領、店×い電×通りラ爆若5ジ  
局外観さガの軍広ア頭くが若月ユ  
れが他に島メに。ベスンドーが  
て入記よへリ並ぶルをセドム茂  
いっ録つ到力ぶを鳴いセル。つ  
るた物て着よテラし。くを背負つ  
。資が押しり返レビ箱まさしほが  
料含収まし返が映されれたさ並木  
箱まれれたさ映る。れる。

○ 広島  
い小夕  
つさ陽  
てなが  
草二人  
が二人の  
ゆつ中  
くりを  
り染め  
と大  
きく  
くな  
つて

教員、帝都新聞を読んでいる。  
栢、自分の席に座る。  
教員「この記者、えらいこと告白しとるなあ」  
教員「なんですか?」  
教員「ああ。広島の原爆のことや」  
教員「!」  
教員「昔撮った写真がな、嘘やつたって」  
教員「まあ、厳密には嘘といふか、栢先生、」  
知つとるか?あの、少女が一人、遺体を  
運んどつた写真や」

○ あ  
る  
小 学  
校  
・  
職  
員  
室  
外  
中  
田  
後

○光一の家(夜)  
仄暗い灯りの下、机の上に広げられた  
原稿用紙と万年筆。横には、葉の写真。  
光一、「：：」  
「：：」  
文字を書いていく。万年筆を手に取り、原稿用紙に  
文字悔悔する事がある

光箱を開け、分類している。  
一、「！」  
まかそ 封光そ 檢閲箱の中には、変色したネガフィルム、  
つざす 中開取中印の押されたゲラ、プリントなど。  
すぐと 中に、封筒の中には、  
な瞳瓦一枚と、出する。 。 。  
の礫光さまざまなネガ。  
葉の中一の手が止まる。 。  
。中包帶だらけだが、





光 葉 直 葉 直 光 直 光 葉 光 直 葉 直 葉  
一 「人」 「人」 一人 一 「一 人」 「人」 ん 「  
「！」 「ん」 「」 「あ」 「そ」 「？」 「び  
光 手 光 : 二 今 ? : 歩 : 葉 光 ま ほ う う う 「  
一 の 一 : 人 う 日 「 : い : ち 一 た は ほ ん か ん  
の 中 、 「 、 ん こ あ て 「 や 、 な い な 」 、 。  
顔 に 手 目 。 そ の い ん 背 、 : ら 、 直 皮  
に 、 で を 負 、 さ る は を 直 : 人 膚  
光 直 力 合 け ビ 「 光 今 向 人 あ り が  
が 人 メ わ ん 」 一 | け は し が な  
差 と ラ せ け 玉 一 | て が は な  
し 葉 の て え 勝 立 | 步 と こ れ  
、 の ポ 笑 ね 負 ち 止 う ご で  
シ ニ 一 い 」 し ょ う ぎ ざ  
ヤ 人 ズ 合 よ う ま す  
ツ の を う う ま す  
タ 笑 作 。 や  
| 顔 る 」  
音 。 。  
(了 )  
」

・朝日新聞連 『新聞と戦争』朝日新聞出版（2008）	・伊藤絵理子（2021）『清六の戦争』あ る従軍記者の軌跡』毎日新聞出版・	・大佐古一郎（1975）『広島昭和二十年』	・小田切秀雄監修（1987）『新聞資料原 爆』日本図書センターハードカバー	・貴志俊彦（2024）『情報・通信・メデ イアの歴史を考える』山川出版社・	・知られざる日本軍の現実』講談社・	・里見脩（2025）『戦争特派員は見た おけるメディアと国家』勁草書房・	・昭和のくらし研究（2015）『昭和のく らし研究』草野義典著、中村義典監修 （1941）昭和館編『昭和館』昭和館・	・中国新聞社『広島平和メディアセンター』	・並河亮（1984）『もうひとつの大戦争』 戦時放送記者がいま明かす日本の対外 戦争（1984）
-------------------------------	--	-----------------------	--	--	-------------------	---	--	----------------------	--

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?lang=ja>

・橋爪紳也（2022）『写真図説 占領下  
の大坂・関西・昭和20年（1945）～昭和  
30年（1955）』創元社  
・林重男（1992）『爆心地ヒロシマに入  
る・カメラマンは何を見たか』岩波書店  
・山本武利編集代表（2009）『占領期雑  
誌資料大系 大衆文化編3』アメリカへの憧  
憬』岩波書店  
・由木直子（2025年1月18日）『隠ペ  
いと誇張で戦意をあおつた大本営とメディア  
東京新聞の報道責任ヘビジュアル特集・戦後  
80年3月』東京新聞・<https://www.tokyo-np.co.jp/article/369536>

○日本軍・GHQ関連  
甲斐弦（2022）『GHQ検閲官』経営科

学出版・河原匡喜（1995）『マッカーサーが來  
た日・8月15日からの20日間』新人物往来  
社・賀茂道子（2022）『GHQは日本人の戦  
争観を変えたか』「ウオーリ・ギルト」をめぐ  
る攻防』光文社  
歴・竹前栄治（2002）『GHQの人びと』経  
理法・日本管理研究会『日本管  
理法令研究会法令研究会（1992）『日本管  
理法令研究会復刻版 第2巻』大空社  
理・日本武利（2021）『検閲官』大空社  
理・たたかたGHQ名簿』新潮新書  
事・吉川弘文館編集部編（2012）『日本軍  
史年表』吉川弘文館

○田糸人関連

・PBS Minnesota Experience. (2021, May 17). Japanese  
Translators Secretly Helped Win World War II [Video].  
YouTube.

<https://www.youtube.com/watch?v=RQ1JVFMK66s>

・Takeda, K. (2007). Nisei Linguists During WWII and the  
Occupation of Japan. The ATA Chronicle.